

REGO シリーズ

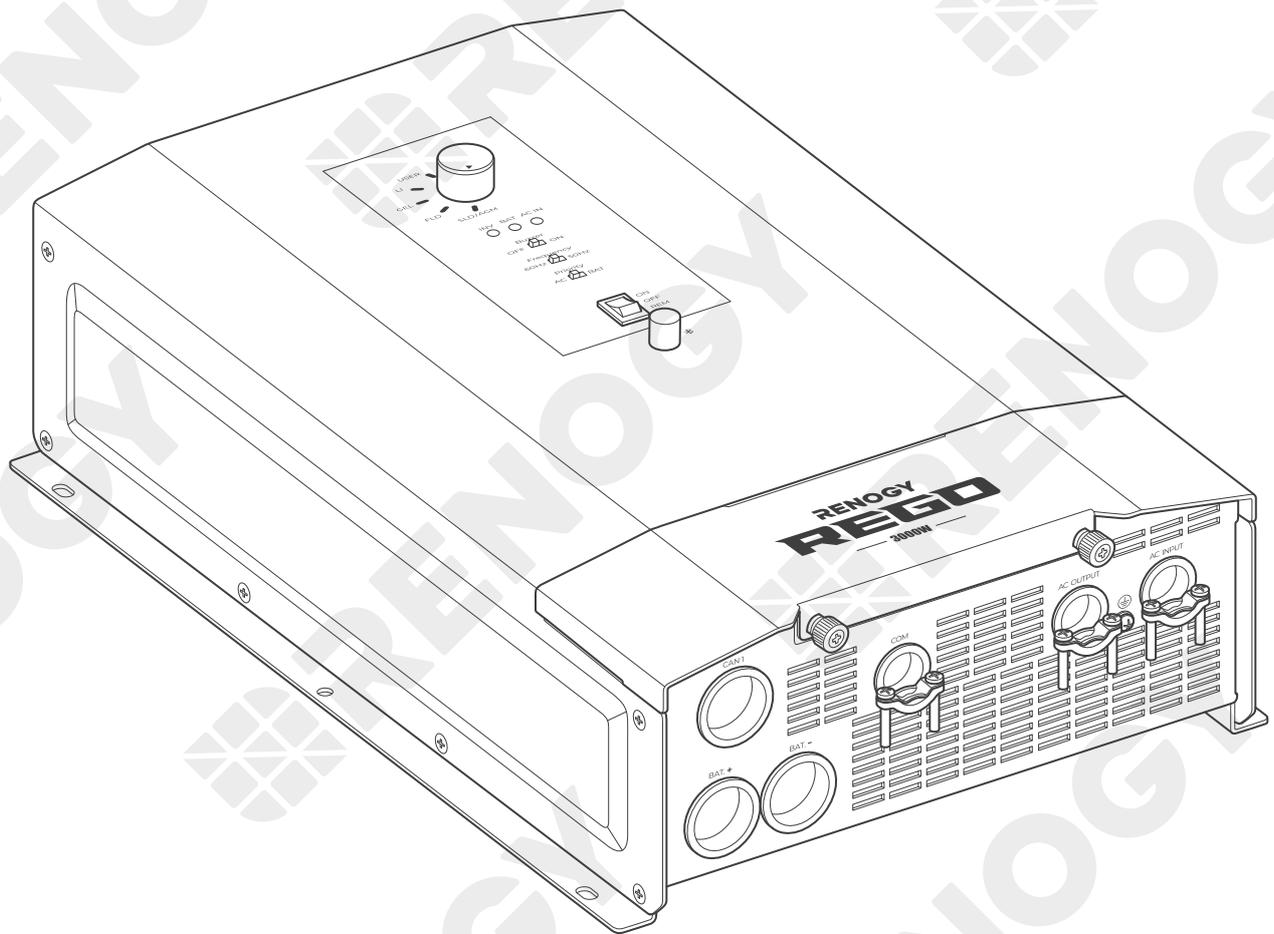
インバーターチャージャー

12V | 3000W

RIV1230RCH-OPS

RENOGY
Superior Energy Solutions

VERSION A0



クイックガイド

はじめに

本クイックガイドには、RENOGY シリーズ 12V 3000W インバーター チャージャーの重要な操作および保守手順が記載されています。

操作の前に本クイックガイドをよくお読みいただき、適切に保管してください。本クイックガイドの指示、または注意事項に従わない場合、感電、重傷、または死亡事故につながる恐れがあります。また本製品に損傷を与え、動作不能になる可能性があります。

免責事項

- RENOGY は、継続的に製品の改良を行っています。対象製品が製造された時点でのクイックガイドの情報の正確性や製品の法令適合性は保証します。
- RENOGY は、当社以外の者による修理を実施した場合、又はクイックガイドに従わない方法で商品を使用した場合によって生じた損害について一切の責任や義務を負わないものとします。
- クイックガイドのイラストは、デモンストレーションを目的としています。製品のリビジョンや市場地域の違いによって、細部が若干異なる場合があります。
- RENOGY は、クイックガイドに記載されている情報を予告なく変更する権利を有します。最新のクイックガイドは jp.renogy.com をご覧ください。

著作権

RENOGY シリーズ 12V 3000W インバーター チャージャー クイックガイド 2024 Renogy. All rights reserved.

- クイックガイドのすべての情報は、RENOGY およびそのライセンシーの著作権の対象となります。RENOGY およびそのライセンシーの事前の書面による許可なしに、クイックガイドの全部または一部を変更、複製、またはコピーすることはできません。

商標

以下は RENOGY の登録商標です。

RENOGY	RENOGY
--------	---------------

- クイックガイドの他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、ここでのそれらの使用は、それらの製品、サービスのスポンサー、または承認を意味するものではありません。クイックガイドまたは製品に表示されている商標の不正使用は固く禁じられています。

バージョン号

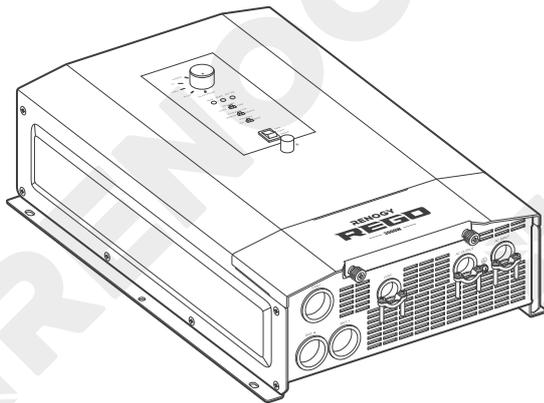
2024 年 5 月 Revision A0

目次

パッケージ内容	1
必要な工具	1
パーツ一覧	2
システムセットアップ	3
ケーブルクランプの正しい取り付け方	4
ステップ 1. 取付場所を計画する	4
ステップ 2. インバーターチャージャーを取り付ける	5
ステップ 3. カバーを取り外す	5
ステップ 4. インバーターチャージャーを接地する	5
ステップ 5. 有線リモコンを取り付ける	6
ステップ 6. バッテリー電圧センサーを取り付ける	6
バッテリー シナリオ A: REGO バッテリー キット	6
バッテリーシナリオ B: 通常のバッテリーキット	7
ステップ 7. バッテリー温度センサーを取り付ける	7
ステップ 8. インバーターチャージャーをバッテリーに接続する	8
バッテリーシナリオ A: REGO バッテリーキット	8
バッテリーシナリオ B: 通常のバッテリーキット	9
ステップ 9. インバーターチャージャーを AC 負荷 (家電製品) に接続する	10
ステップ 10. インバーターチャージャーを商用電源に接続する (オプション)	11
ステップ 11. CAN 通信配線 (オプション)	12
バックボーンネットワーク	12
デ이지チェーンネットワーク	14
ステップ 12. 検査	15
ステップ 13. カバーを取り付ける	15
N-G ボンディングリレー	15
設定パネル	16
バッテリータイプ設定	16
ユーザーモード	17
ブザーの有効化 / 無効化	18
AC 出力周波数を設定する	18
AC 出力の優先順位を設定する	18
電源オフ / オン	19
方法 1: オン / オフ / リモート電源スイッチを使用する	19
方法 2: 有線リモコンを使用する	19
LED インジケータ	20
インバーターチャージャーを監視する	20
DC HOME アプリによる近距離監視	20
ワイヤレス長距離モニタリング	21
有線による長距離監視 (バックボーンネットワーク)	21
有線による長距離監視 (デ이지チェーンネットワーク)	22
重要な安全情報	23
Renogy Support	24

パッケージ内容

REGOシリーズ 12V 3000W
インバーターチャージャー x 1

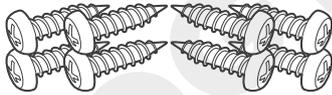


有線リモコン x 1

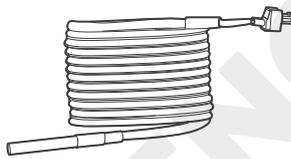


RJ12 ケーブル (5m) x 1

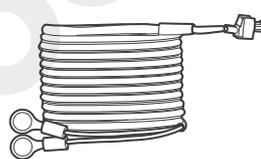
ST6.3 x 1.8 x 13 mm



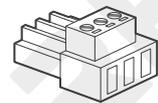
セルフタッピングネジ x 8
(2つ予備)



バッテリー温度
センサー x 1



バッテリー電圧
センサー x 1



ドライ接点リレー
コネクタ x 1



すべてのアクセサリが揃っていて、破損の形跡がないことを確認してください。

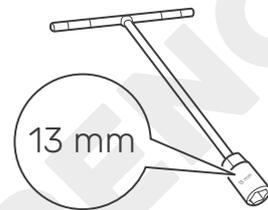
必要な工具



プラスドライバー (#2)

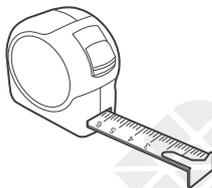


マイナスドライバー (1 mm)



13 mm

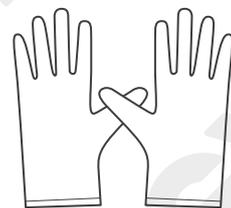
ソケットレンチ (17/32 in)



メジャー



ワイヤーストリッパー



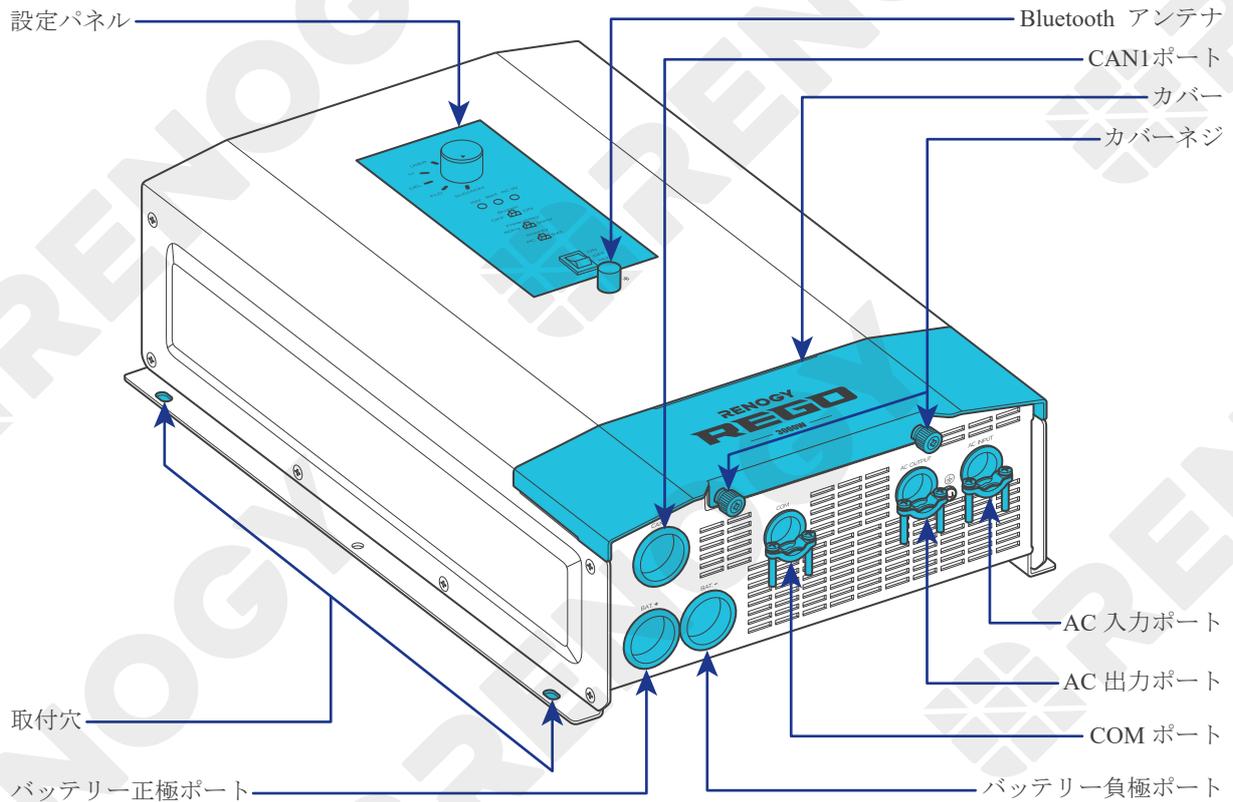
絶縁手袋



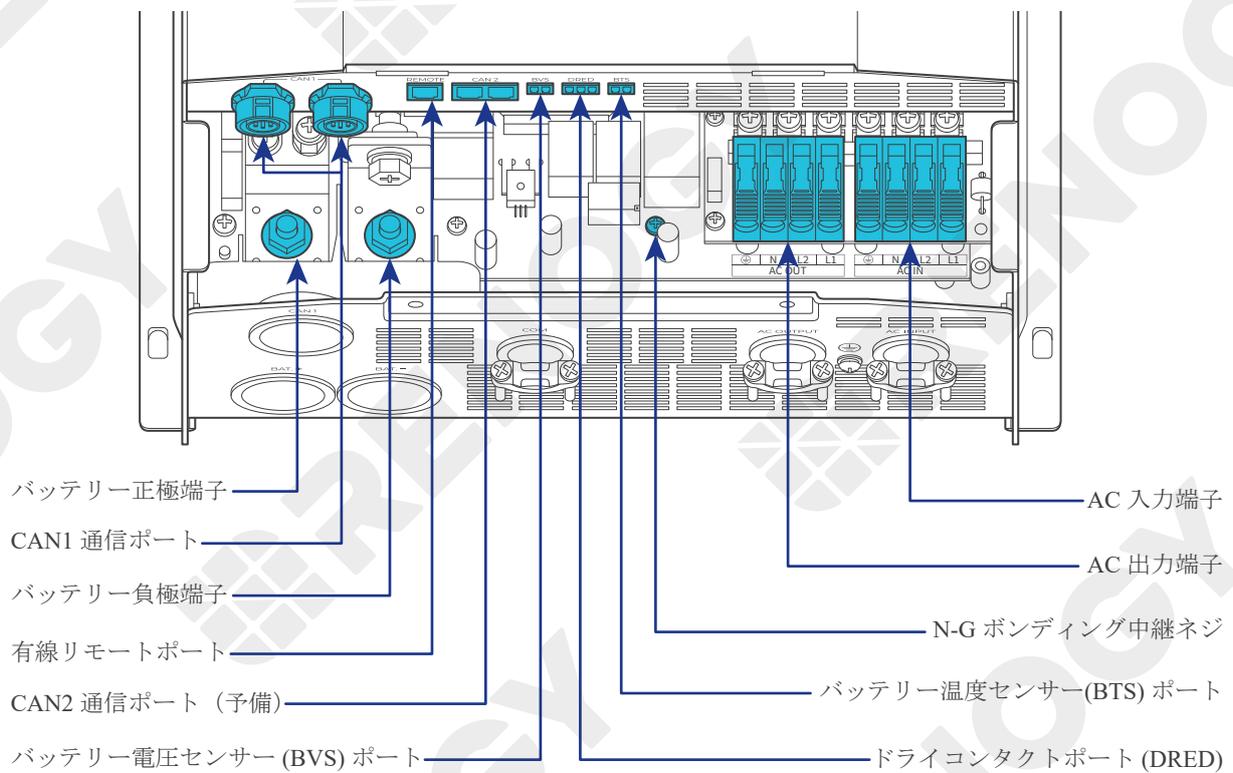
インバーターチャージャーを設置して設定する前に、推奨されるツール、コンポーネント、アクセサリを準備してください。

パーツ一覧

■ 外装



■ 内部 (カバーを外した状態)



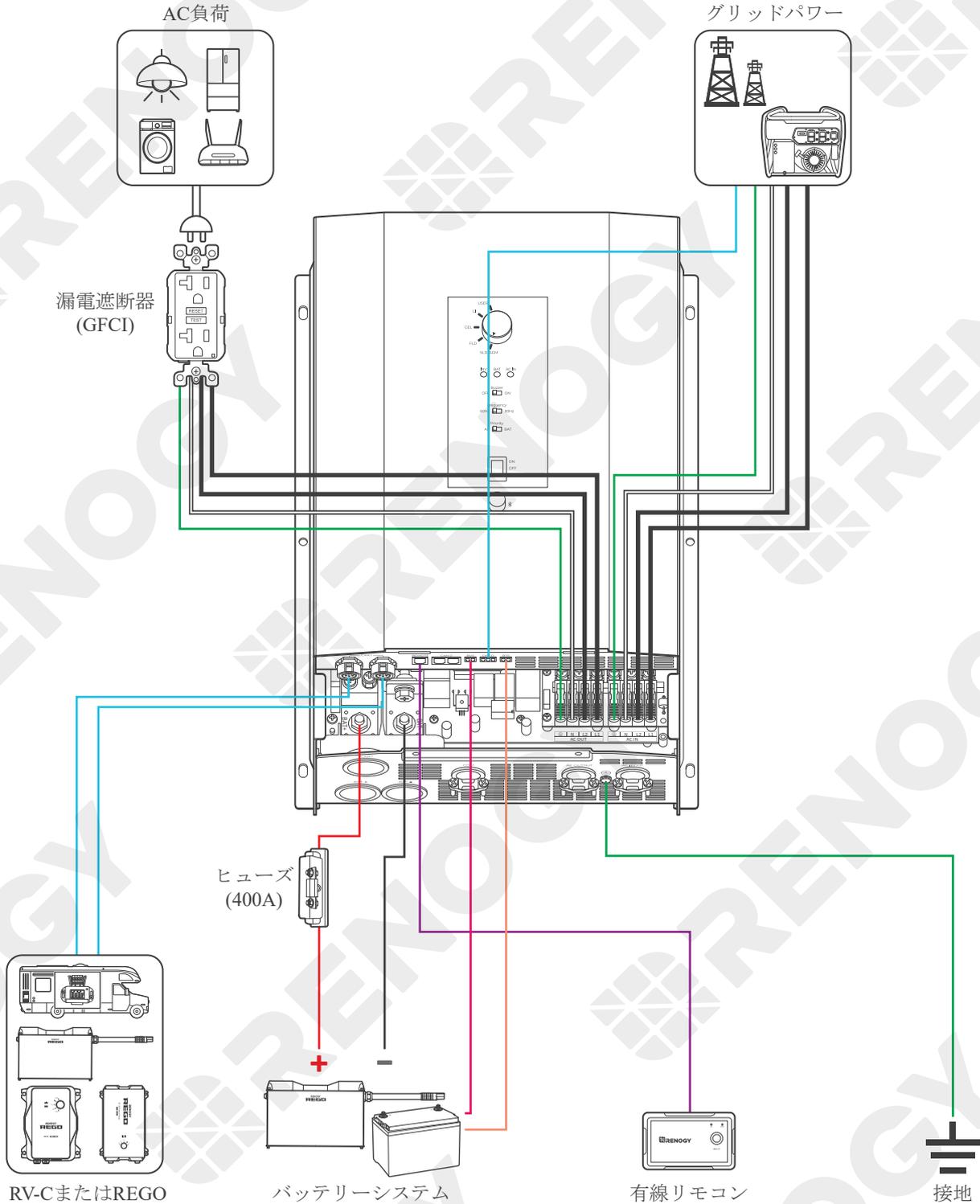
BTS ポートは鉛蓄電池でのみ使用できます。



ドライコンタクトポート (DRED) により、インバーターは必要に応じて AC 発電機を自動的に開始および停止できます。詳細な手順については、jp.renogy.com の取扱説明書を参照してください。

システムセットアップ

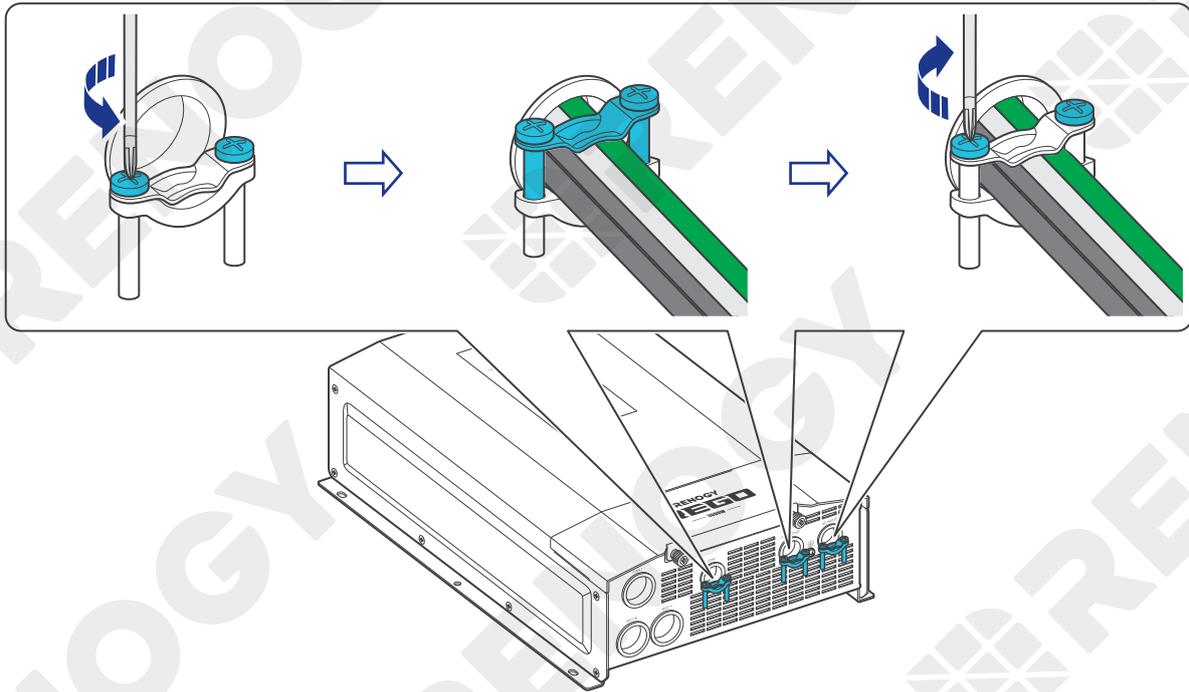
- ライブ線 (AC) — プラス (DC) — 接地 — BTS — リモコン
- 中性線 (AC) — マイナス (DC) — 通信 — BVS



- ⚠️ 配線図は、説明のために典型的な DC 結合型オフグリッド蓄電システムの主要コンポーネントのみを示しています。配線はシステム構成によって異なる場合があります。遮断スイッチ、非常停止装置、急速停止装置など、追加の安全装置が必要になる場合があります。設置場所の規制に従ってシステムを配線してください。
- ⚠️ AC IN ポートの接続は、接続されているグリッドシステムによって異なります。単相二線式 100V 送電システムの場合、入力には AC IN L1 ポートと N ポートのみが使用されます。単相三線式 100V/200V 送電システムの場合、AC IN L1、L2、および N ポートが入力に使用されます。200VAC 出力は、インバーターチャージャーが単相三線式 100V/200VAC 電源から供給されている場合にのみ利用可能です。

ケーブルクランプの正しい取り付け方

AC入力ポート、AC出力ポート、COMポートにはケーブルクランプが装備されており、配線接続がしっかりと固定され、振動によって緩まないようにしてください。

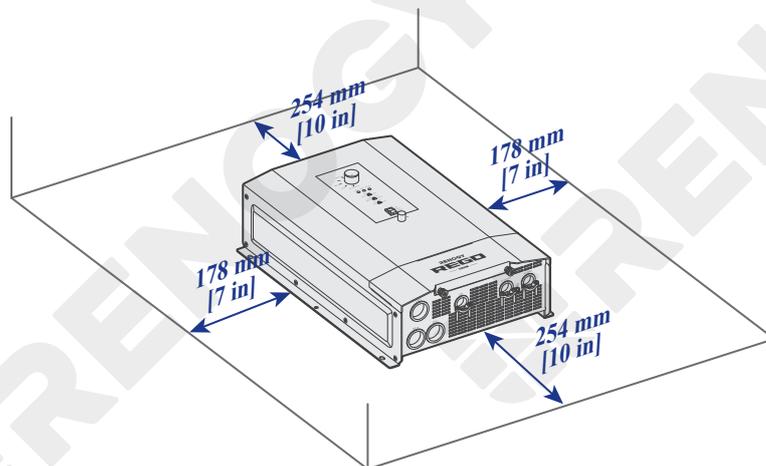


ステップ 1. 取付場所を計画する

インバーターチャージャーは、設置、配線、換気のために十分なスペースが必要です。最小のゆとりは以下に示されています。エンクロージャに取り付ける場合は、換気してください。適切な取り付け場所を選択して、インバーターチャージャーを適切なケーブルでバッテリーおよびAC電源/発電機に安全に接続できるようにしてください。

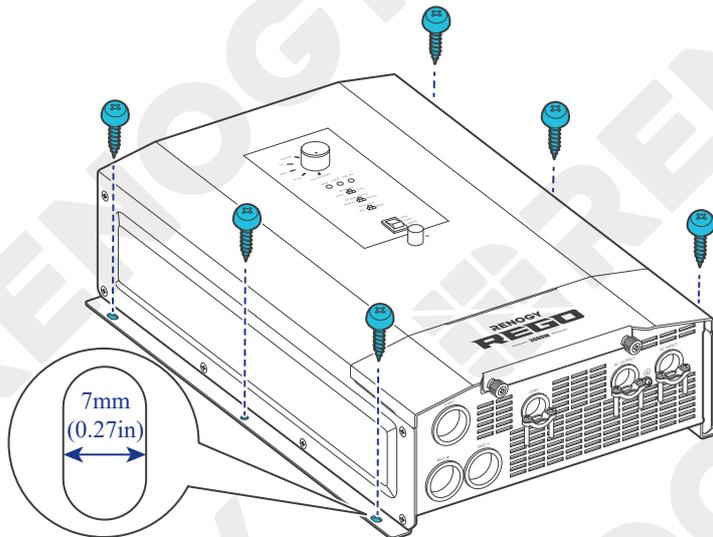
 -20°C ~ 60°C
-4°F ~ 140°F

 0% ~ 95%



- ⚠ インバーターチャージャーは、直射日光が当たらない垂直面に設置してください。
- ⚠ インバーターチャージャーは、周囲温度が45°Cを超えると全負荷で動作できません。
- ⚠ インバーターチャージャーは床または壁に取り付けることができます。

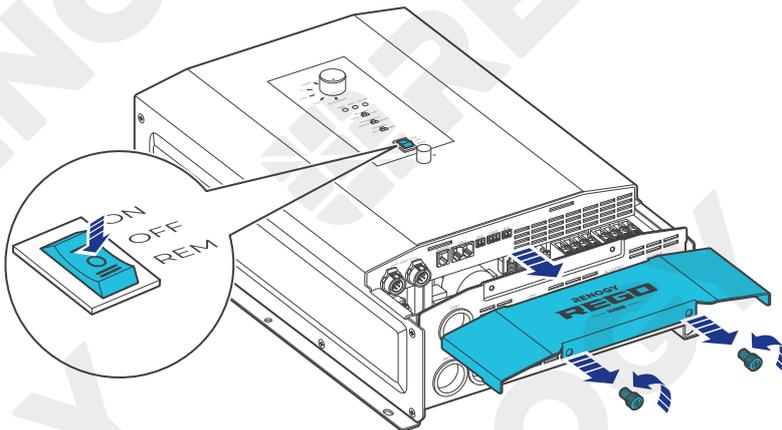
ステップ 2. インバーターチャージャーを取り付ける



取り付け穴にタッピングネジを使用して、インバーターチャージャーを設置場所に固定します。

! インバーターチャージャーは落下しないようにしっかりと取り付けてください。

ステップ 3. カバーを取り外す

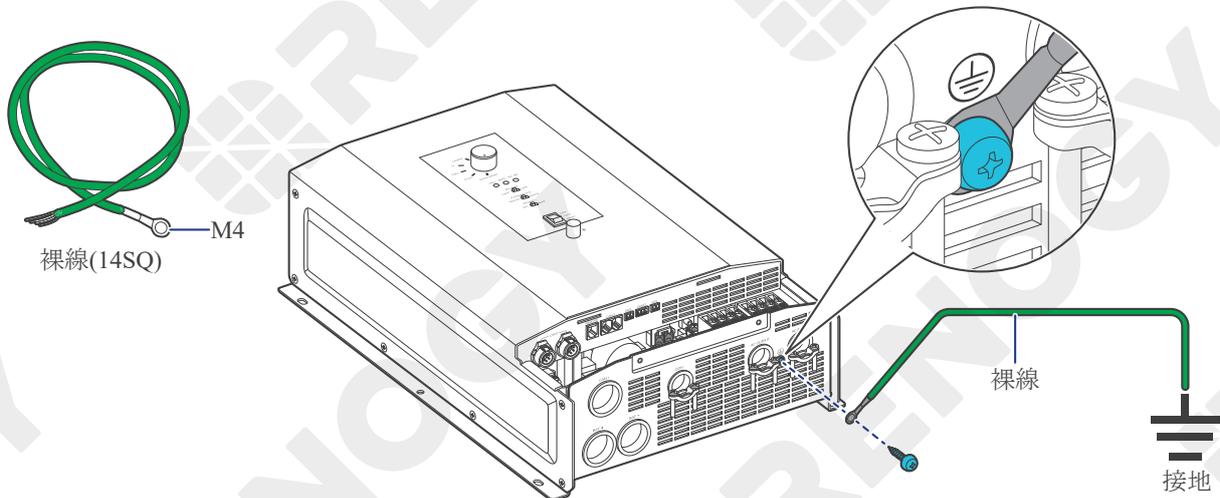


まず、オン/オフ/リモート電源スイッチがオフの位置にあることを確認します。

次に、2本のカバーネジを手またはプラスドライバーを使用して反時計回りに回し、カバーを取り外します。

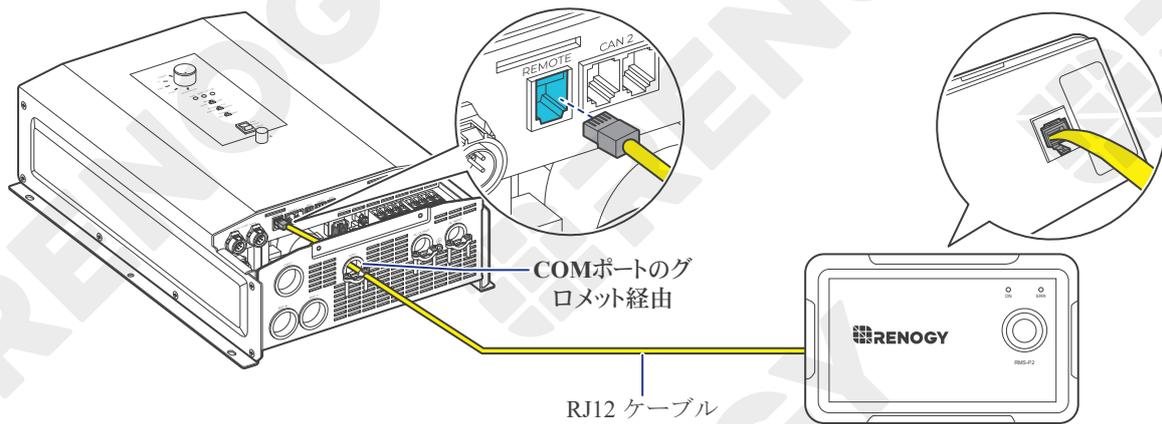
ステップ 4. インバーターチャージャーを接地する

推奨アクセサリ



ステップ 5. 有線リモコンを取り付ける

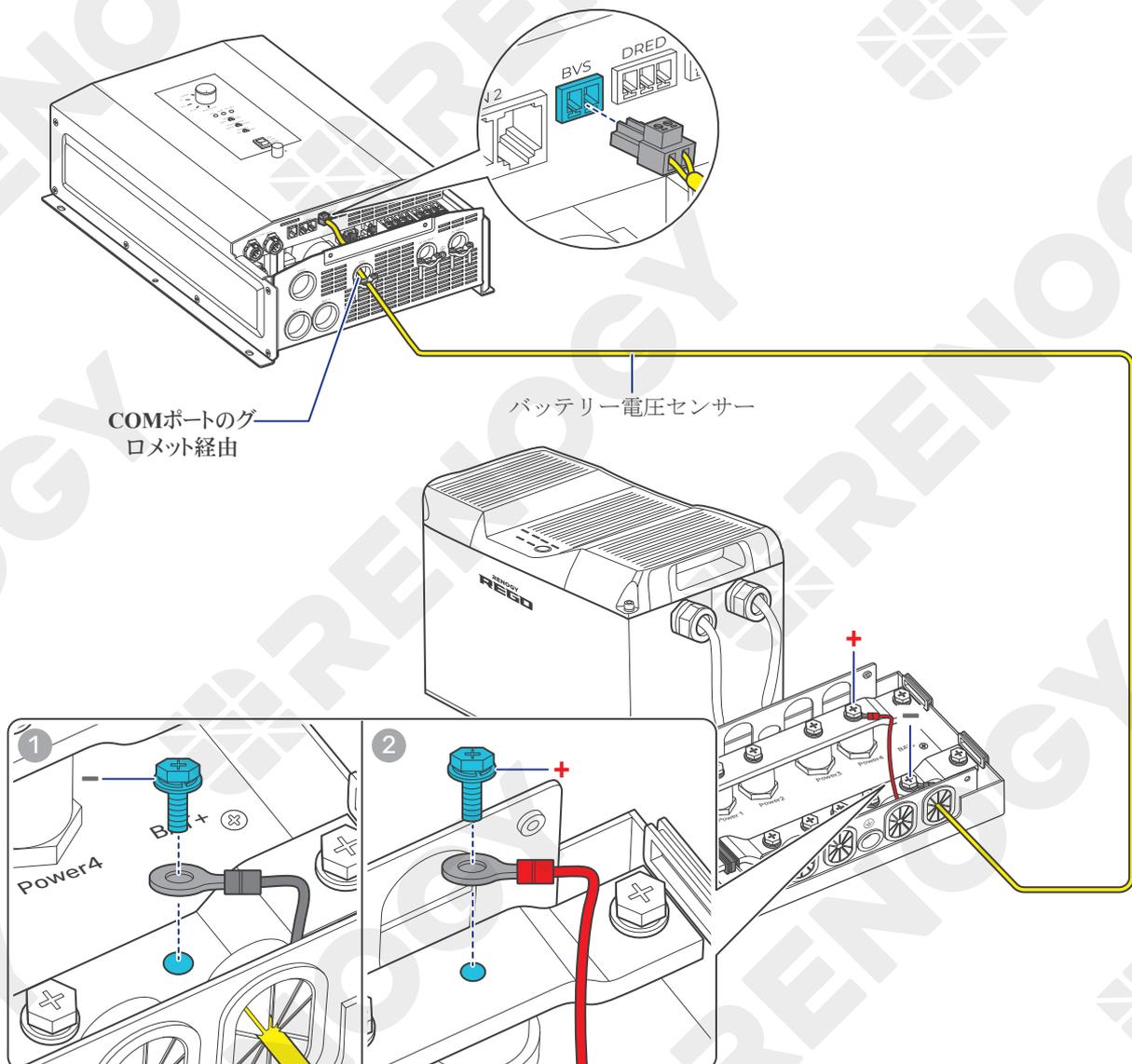
有線リモコンを使用して、インバーターチャージャーの電源をリモートでオンまたはオフにすることができます。



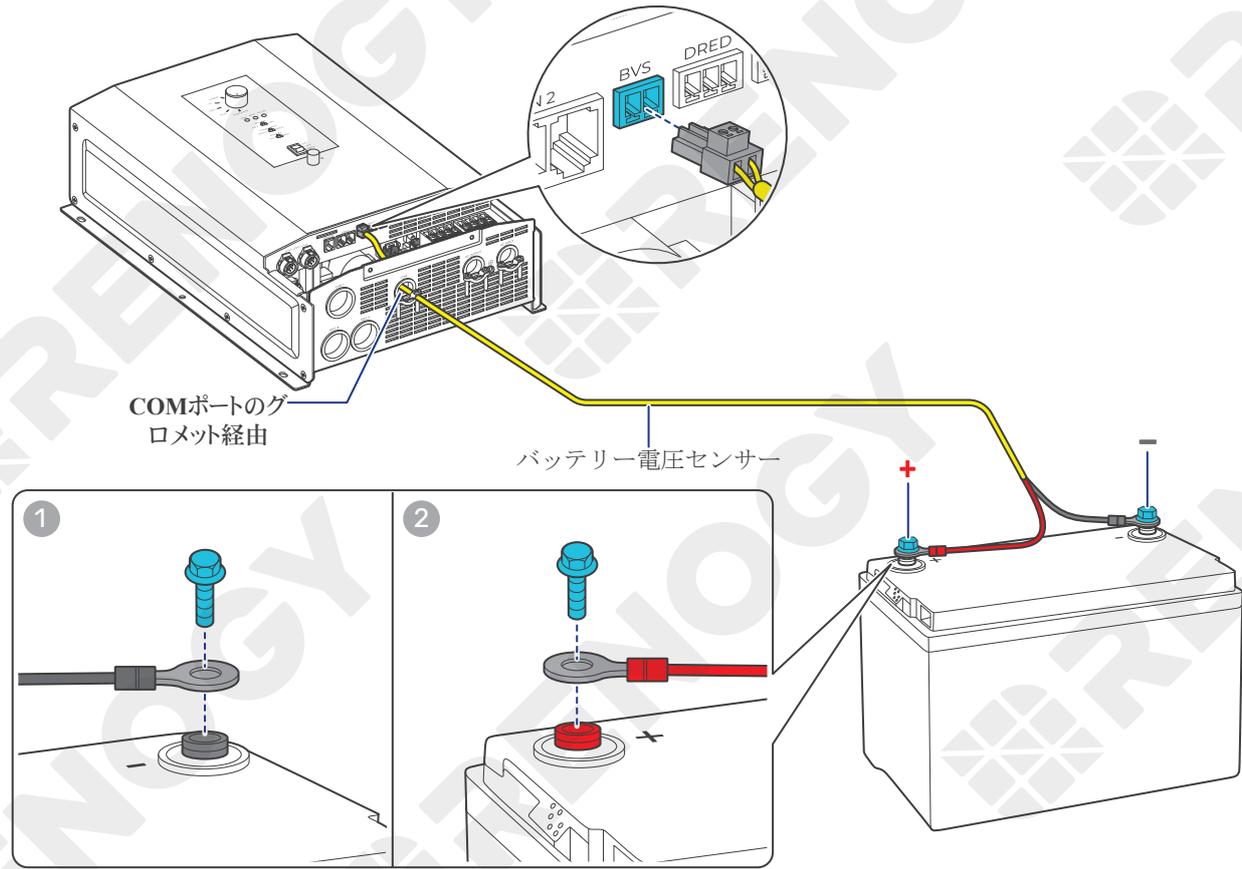
ステップ 6. バッテリー電圧センサーを取り付ける

バッテリー電圧センサーは、放電中のバッテリー電圧を測定し、バッテリー端子のケーブル間の電圧降下を補償します。これにより、バッテリーの動作電圧への影響を最小限に抑えることができます。

バッテリー シナリオ A: REGO バッテリー キット



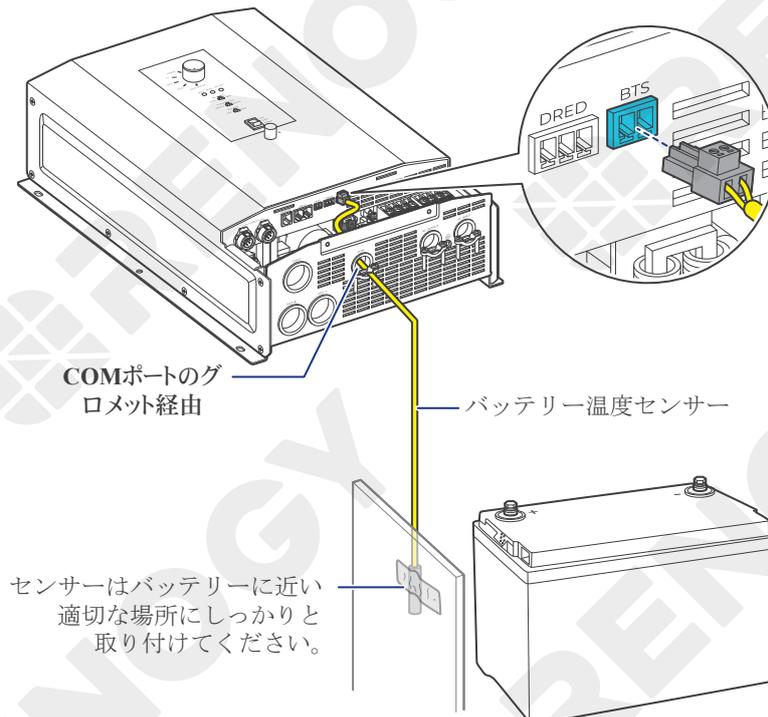
バッテリーシナリオ B: 通常のバッテリーキット



ステップ 7. バッテリー温度センサーを取り付ける

温度センサーはバッテリーの周囲温度を測定し、バッテリー温度が低い場合にフロート充電電圧を補正します。

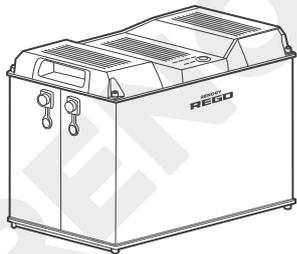
! バッテリー管理システム (BMS) が付属する LiFePO4 (LFP) バッテリーでは温度センサーを使用しないでください。



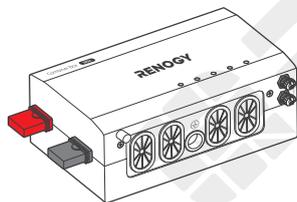
ステップ 8. インバーターチャージャーをバッテリーに接続する

バッテリーシナリオ A: REGO バッテリーキット

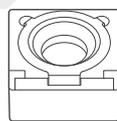
推奨コンポーネント&アクセサリ



REGO 12V 400Ah リン酸鉄
リチウムイオンバッテリー



REGO 500A
コンバイナーボックス

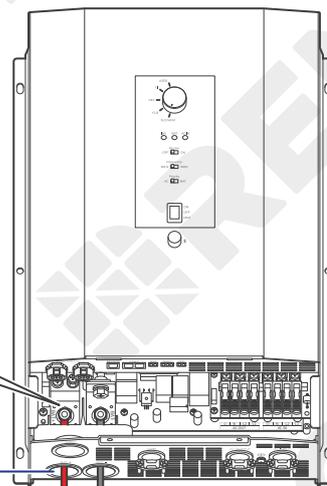
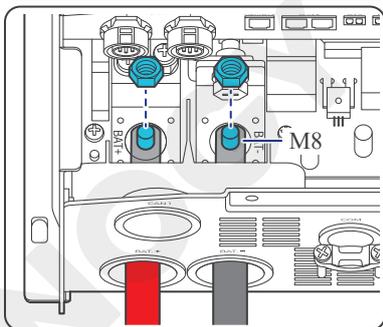


MRBF ヒューズ
(400A)

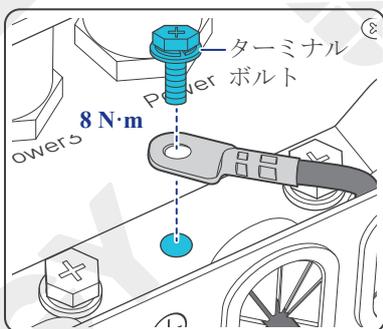


バッテリーアダプターケーブル
(100SQ) x2

ステップ-1 インバーターチャージャーにケーブルを取り付ける

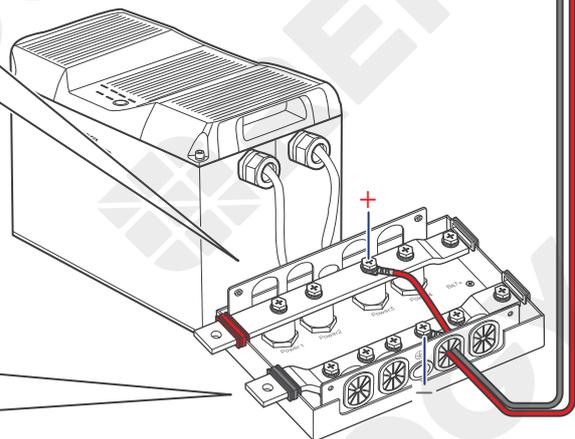
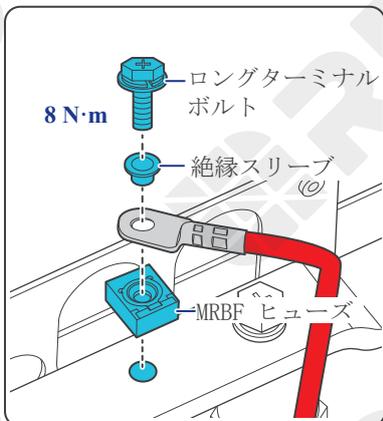


ステップ-2 負極を取り付ける



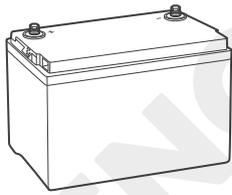
バッテリープラスポートおよび バッテリー
マイナスポートのグロメットを経由する

ステップ-3 MRBFヒューズと正極を取り付ける

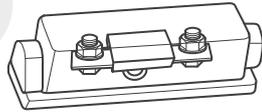


バッテリーシナリオ B: 通常のバッテリーキット

推奨コンポーネント&アクセサリ



12V バッテリー



ANL ヒューズ(400A)



バッテリーアダプターケーブル
(100SQ) x2

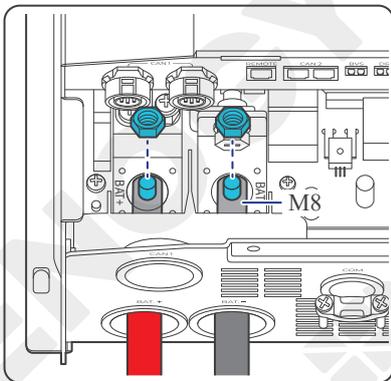


ヒューズケーブル
(100SQ)

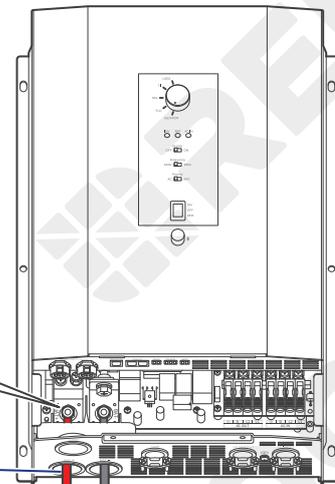
⚠ インバーターチャージャーをバッテリーに接続する方法の詳細については、バッテリーの取扱説明書をお読みください。

⚠ インバーターチャージャーは、ディープサイクルゲルシール鉛酸電池 (GEL)、浸水鉛酸電池 (FLD)、密閉型鉛蓄電池 (SLD/AGM)、またはリン酸鉄リチウム電池 (LI) にのみ接続できます。

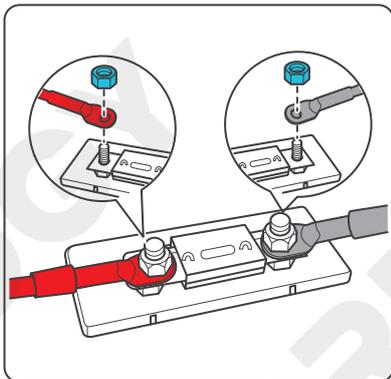
ステップ-1 インバーターチャージャーにケーブルを取り付ける



バッテリープラスポートおよび バッテリー
マイナスポートのグロメットを経由する



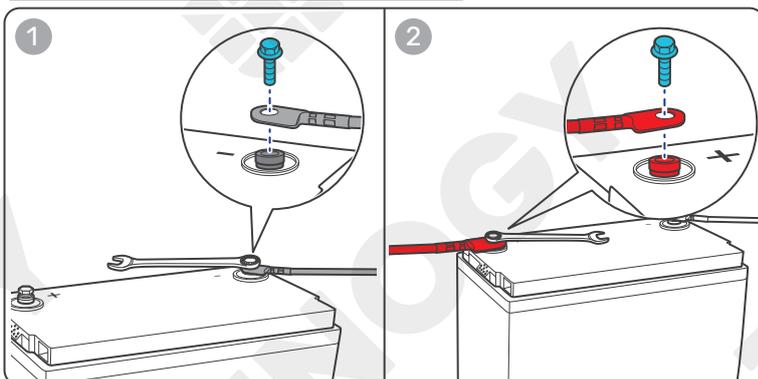
ステップ-2 ANLヒューズを取り付ける



バッテリーアダプターケーブル

ANLヒューズ(400A)

ステップ-3 バッテリーにケーブルを取り付ける



ヒューズ
ケーブル

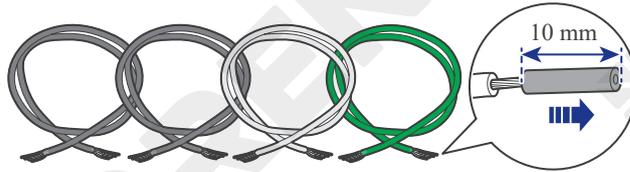
12V バッテリー

ステップ 9. インバーターチャージャーを AC 負荷 (家電製品) に接続する

推奨コンポーネント&アクセサリ

ケーブルの推奨サイズ

ケーブルの長さ	ケーブルサイズ
0m~3m	14SQ
3m~6m	14SQ~22SQ
6m~9m	22SQ



裸線 × 4

推奨GFCI仕様

商用電源	仕様
利用不可	≥30A@100V
利用可能	≥50A@100V
	≥25A@200V



漏電遮断器



AC負荷

総負荷電力

商用電源	仕様
利用不可	≤3000W @100V
利用可能	≤5000W @100V/200V

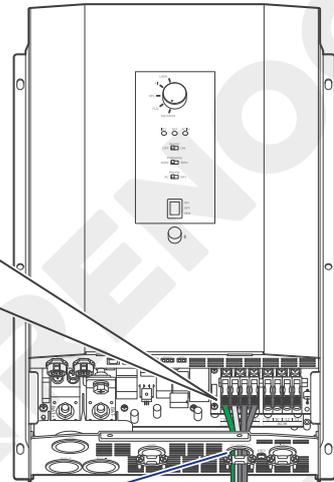
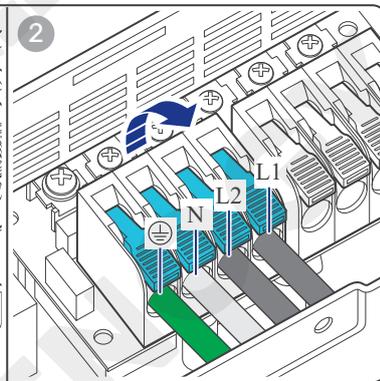
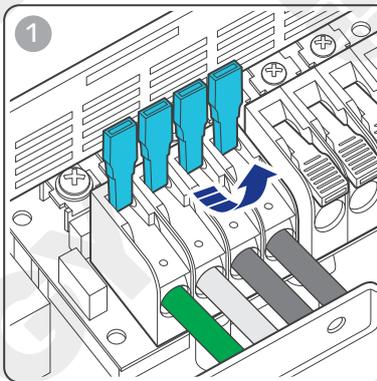
⚠ 負荷とインバーターチャージャーを GFCI に接続する方法の詳細については、GFCI の取扱説明書をお読みください。

⚠ 単相三線式 120V/240V 電源システムの場合、AC IN の L1、L2、および N が使用されます。

- AC 出力を L1、L2、N に接続すると、インバーターチャージャーは 200V を出力します。
- AC 出力を L1 と N に接続すると、インバーターチャージャーは 100V を出力します。

単相二線式 100V システムの場合、または利用可能な商用電源がない場合、インバーターチャージャーは 100V を出力します。

ステップ-1 インバーターチャージャーに裸線を取り付ける



AC出力ポートのグロメットを経由する

裸線



AC負荷

ステップ-2 GFCIを取り付ける

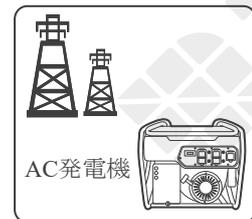
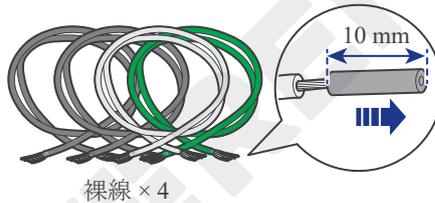


ステップ 10. インバーターチャージャーを商用電源に接続する (オプション)

推奨のコンポーネント&アクセサリ

推奨のケーブルサイズ

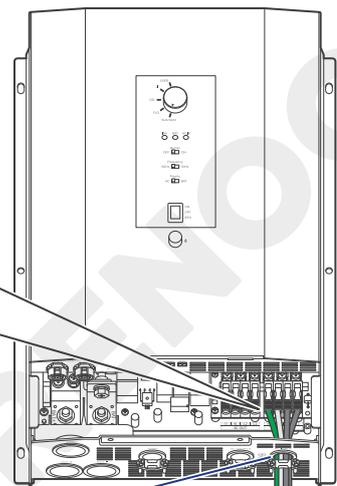
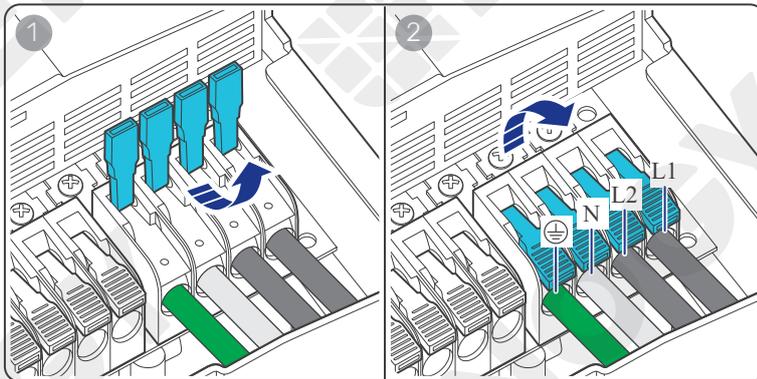
ケーブルの長さ	ケーブルサイズ
0m~3m	14SQ
3m~6m	14SQ~22SQ
6m~9m	22SQ



商用電力 (発電機を含む)
(単相二線式100Vまたは
単相三線式100V/200V)

- ⚠ 感電の危険があります! インバーターチャージャーに接続する前に、商用電源またはAC発電機がオフになっていることを確認してください。
- ⚠ AC発電機をインバーターチャージャーに接続する方法の詳細については、発電機の取扱説明書をお読みください。
- ⚠ AC IN ポートの接続は、接続されている送電システムによって異なります。単相二線式 100V 送電システムの場合、入力にはAC IN L1 ポートと N ポートのみが使用されます。単相三線式 100V/200V 送電システムの場合、AC IN L1、L2、および N ポートが入力に使用されます。200VAC 出力は、インバーターチャージャーが単相三線式 100/200VAC 電源から供給されている場合にのみ利用可能です。
- ⚠ 利用可能な商用電源接点がない場合は、次の図に示すように、アース裸線 (一端が⊕に接続) を N 裸線に接続します。この手順に従わないと、商用電源で充電/放電の問題が発生し、アラームに障害が発生する可能性があります。

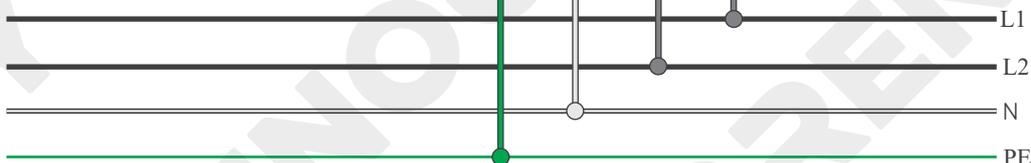
ステップ-1 インバーターチャージャーに裸線を取り付ける



AC入力ポートのグローメットを経由する

裸線

ステップ-2 商用電源に裸線を取り付ける

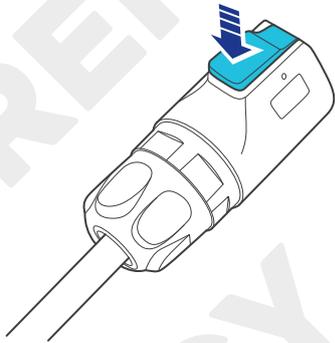


商用電源

ステップ 11. CAN 通信配線 (オプション)

インバーターチャージャーを他の REGO デバイスに接続し、任意の CAN1 ポートを介してデバイス間でリアルタイムのデータ通信を行うことができます。配線の詳細は配線方式によって異なります。このクイックガイドでは、バックボーンとデジチェーンという 2 つのスキームでのデバイス間の配線について詳しく説明します。

- ⚠️ Renogy からの技術サポートについては、jp.renogy.com/contact-us/ からお問い合わせください。
- ⚠️ 配線の詳細については、REGO 12V 3000W インバーターチャージャーの取扱説明書を参照してください。

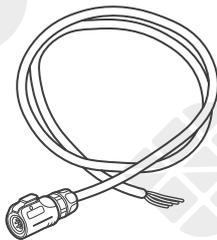


LP16 端子プラグをインバーターチャージャーに正しく接続または取り外すには、次のように行ってください。

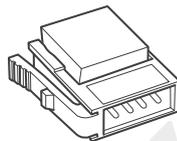
1. プラグが CAN1 通信ポートに向かって垂直に向いていることを確認します。
 2. プロセスが完了するまでスナップを押し続けます。
- プラグを抜き差しするときに振らないようにしてください。

バックボーンネットワーク

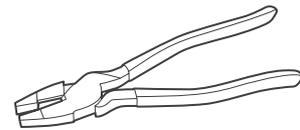
推奨ツール&アクセサリ



LP16プラグ (7ピン) to ベアドロップケーブル



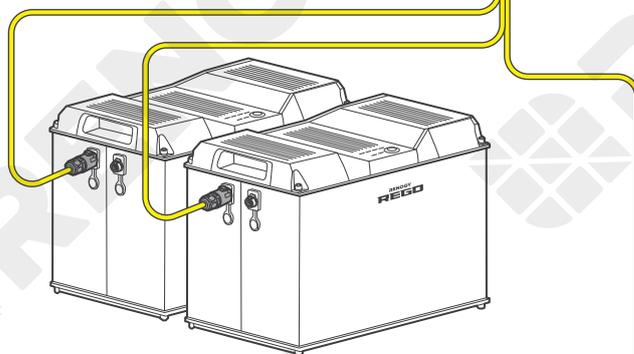
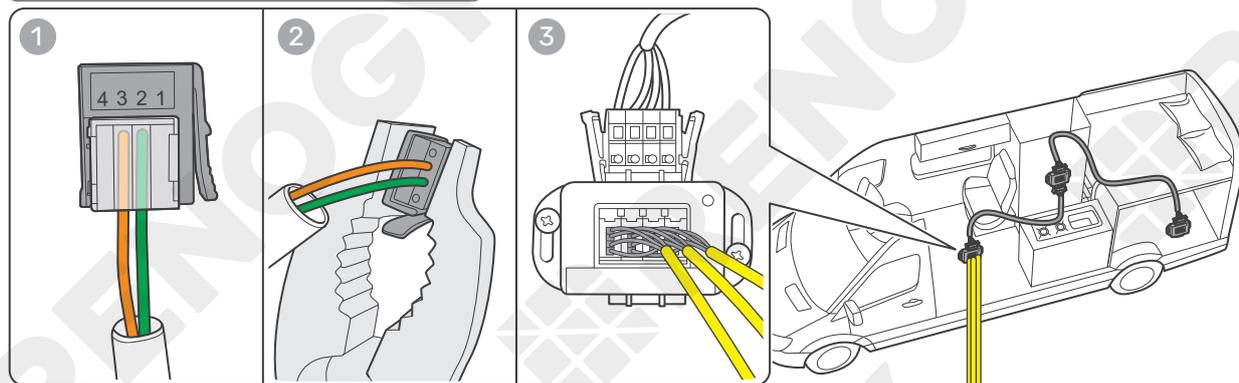
ドロッププラグ



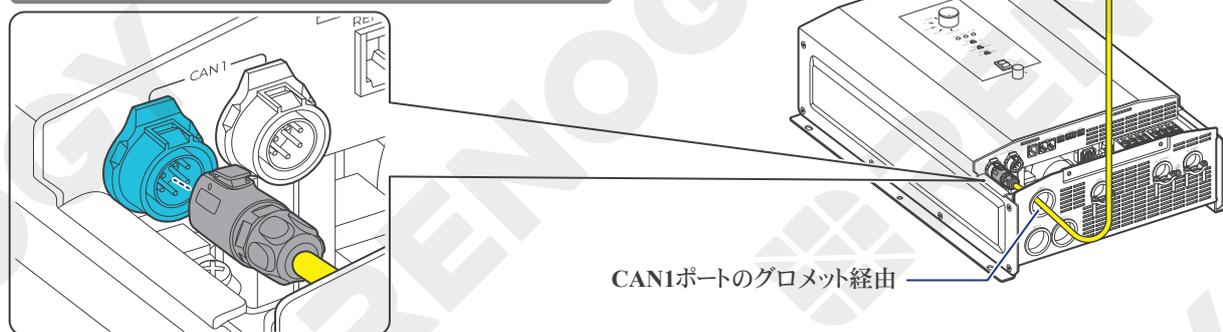
スプリットジョイントプライヤー

- ⚠️ REGO シリーズデバイスと正常に通信できるように、RV-C バスの両端に 120 Ω の終端抵抗が取り付けられていることを確認してください。
- ⚠️ RV-C バスで使用されるドロップソケットと互換性のある適切なドロッププラグを選択してください。RV メーカーが異なれば、デバイス間通信接続に異なるタイプのドロップソケットを使用する場合があります。正しいドロッププラグの選択が不明な場合は、RV の製造元にお問い合わせください。このクイックガイドでは、ミニランプ II プラグ (4 ピン) を例として使用します。
- ⚠️ 異なるドロッププラグは異なるピン配置に従います。正しいピン配置に従って、ドロップケーブルのドロッププラグを圧着します。ドロッププラグのピン配列が不明な場合は、RV の製造元に問い合わせてください。

ステップ-1 RV-C バスにケーブルを取り付ける

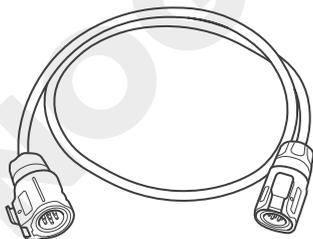


ステップ-2インバーチャージャーにケーブルを取り付ける

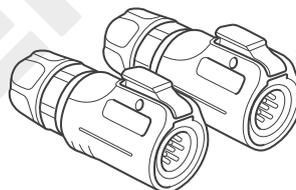


デジチェーンネットワーク

推奨アクセサリ

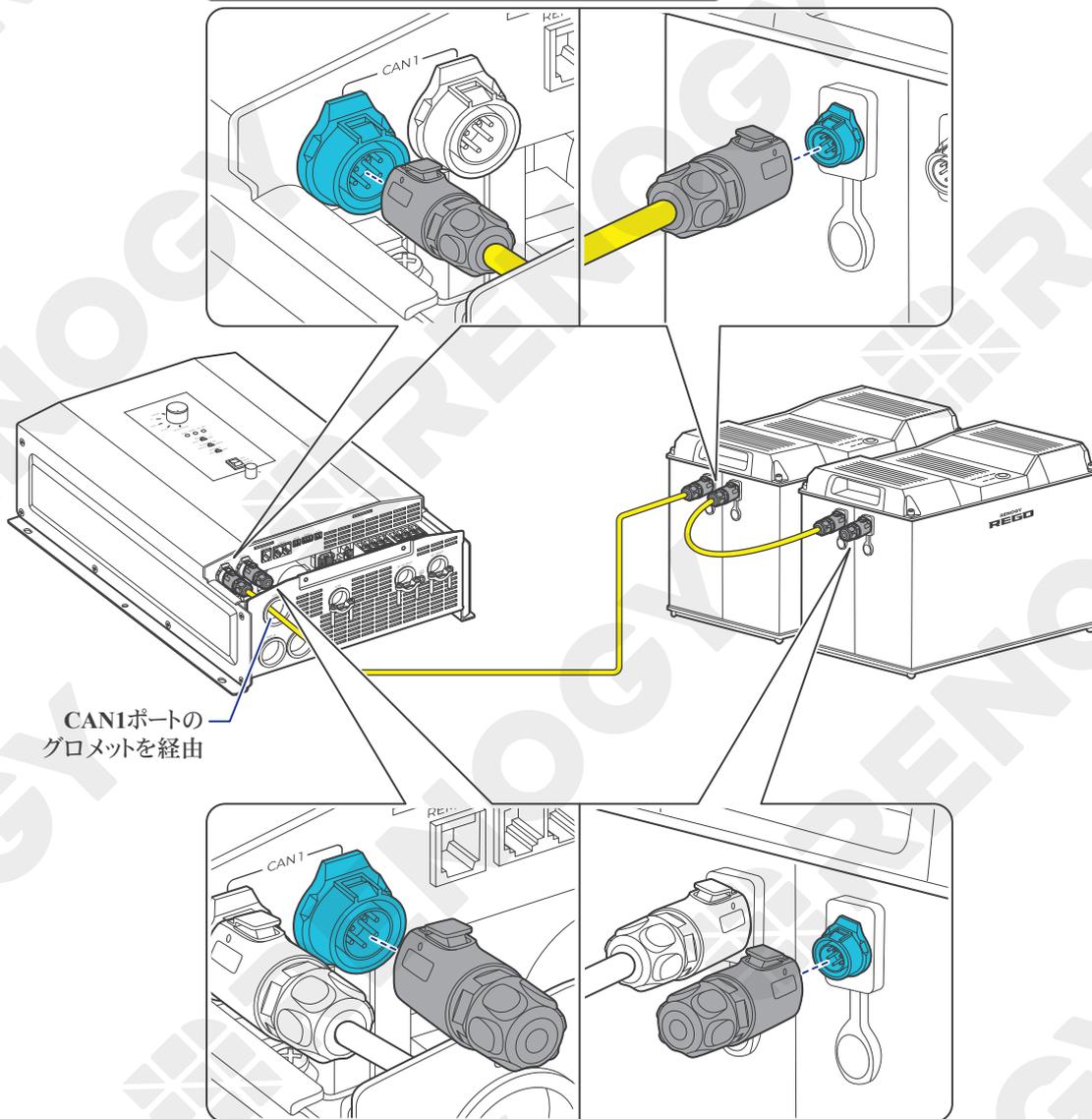


LP16 プラグ (7ピン) 通信ケーブル



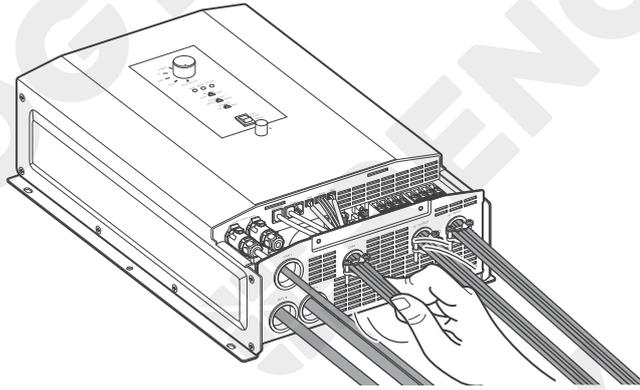
LP16 ターミネータプラグ (7ピン)

ステップ-1 REGO デバイスにケーブルを取り付ける



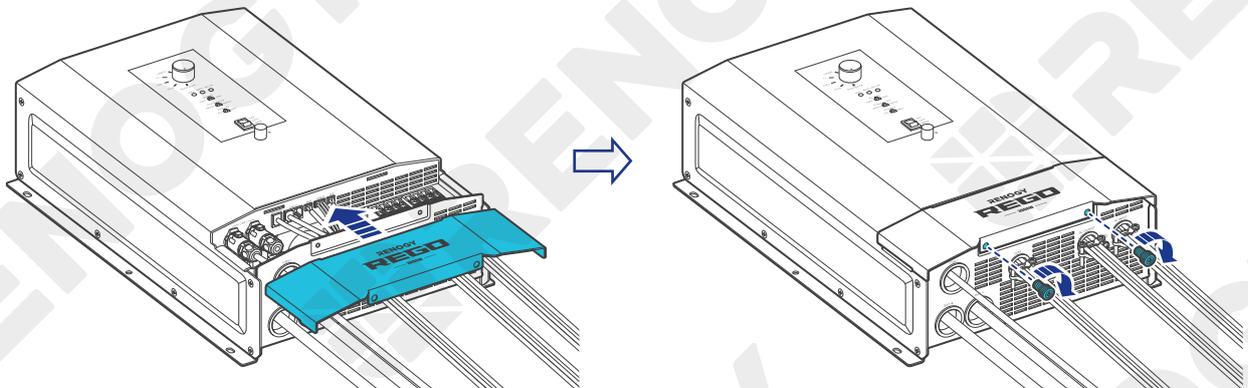
ステップ-2 REGO デバイスにプラグを取り付ける

ステップ 12. 検査する



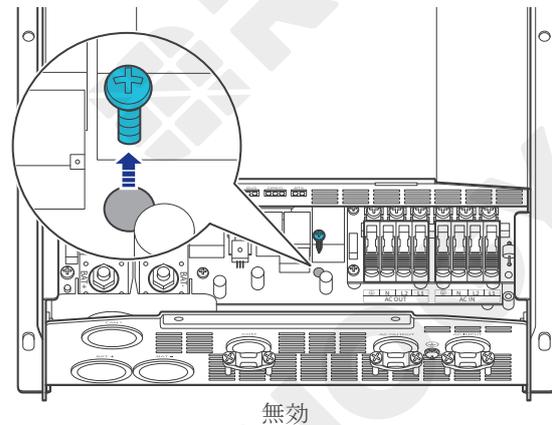
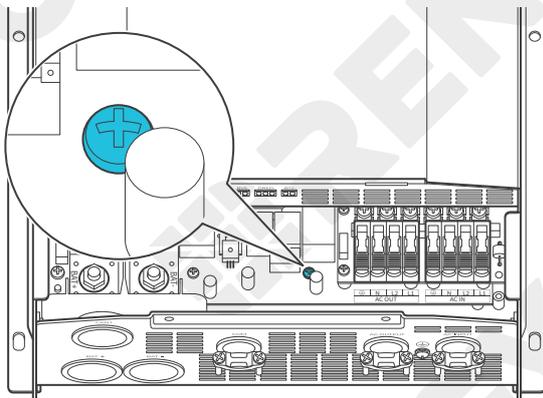
⚠ すべてのワイヤーがインバーターチャージャーにしっかりと固定されていることを確認してください。

ステップ 13. カバーを取り付ける

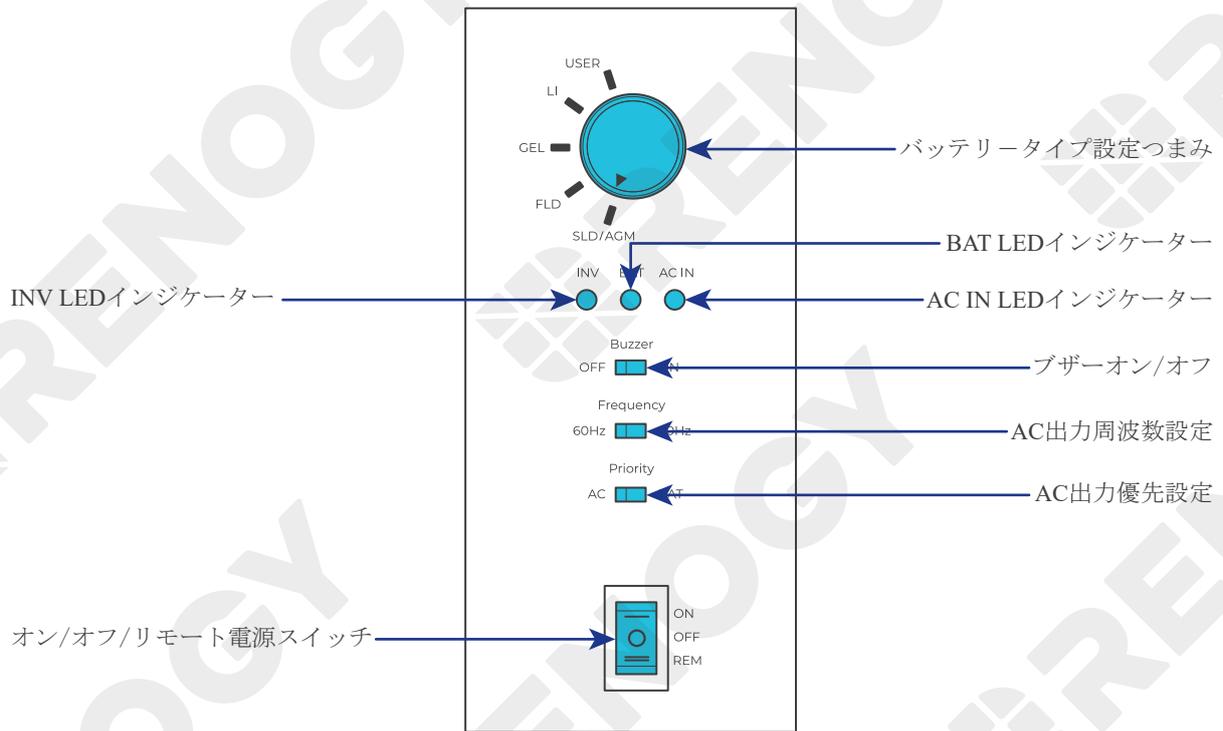


N-G ボンディングリレー

インバーターチャージャーには、RV の中性点入力または出力接点が常に接地されるようにする中性点から接地へのボンディングリレーが装備されています。これは、RV の中性点と外部 AC 電源の間の接触によって引き起こされる感電を防ぐのに役立ちます。デフォルトでは、インバーターが工場から出荷されるときに、中性点から接地へのボンディングリレーが有効になっています。リレー機能を無効にするには、N-G ボンディングリレーネジを取り外します。



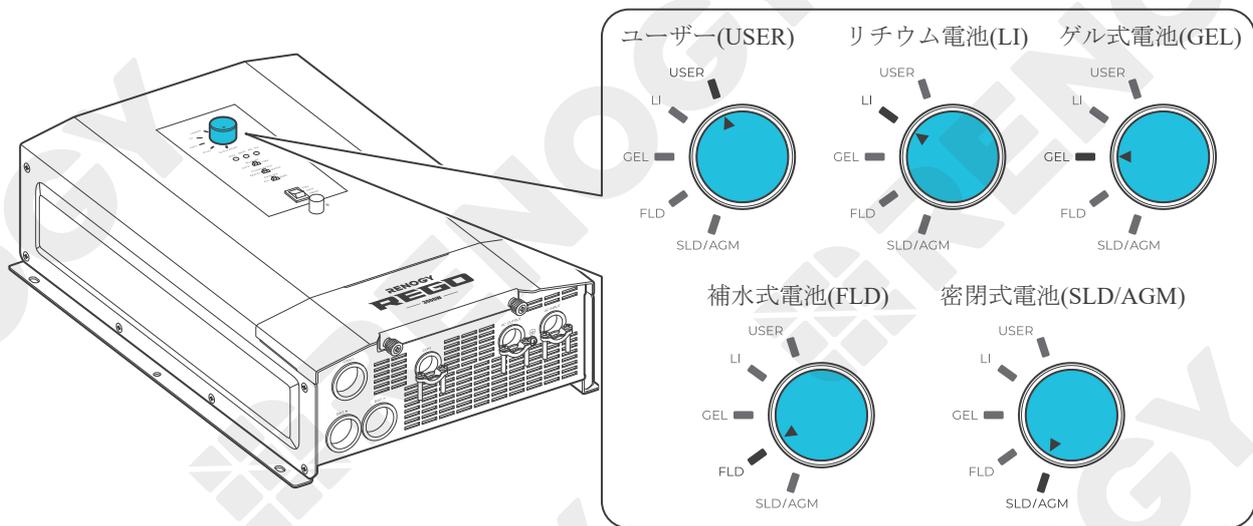
設定パネル



バッテリータイプ設定

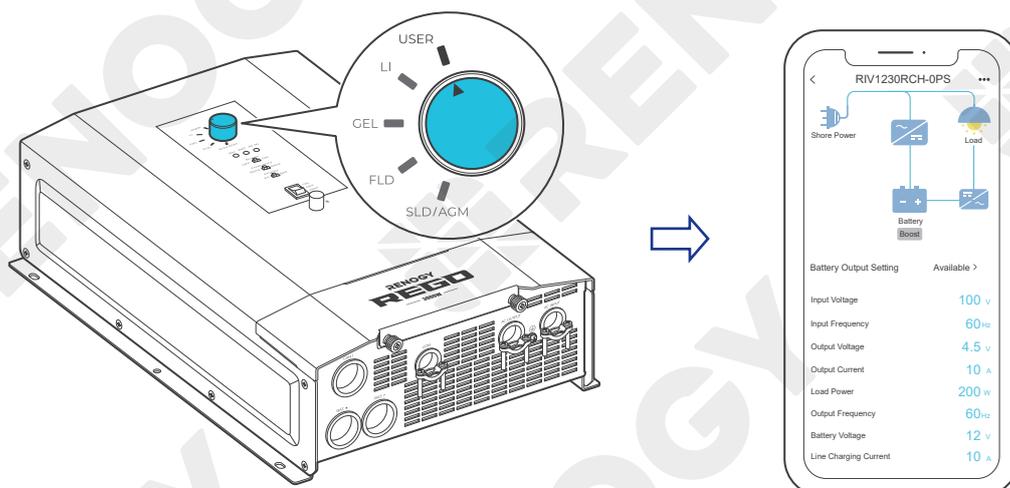
インバーターチャージャーを設置する際は、バッテリータイプ設定つまみで正しい種類を設定してください。

! インバーターチャージャーの損傷を回避するには、バッテリータイプの設定が正しく構成されていることを確認することが重要です。間違ったバッテリータイプの設定によってインバーターチャージャーが損傷した場合、保証が無効になります。



ユーザーモード

バッテリーの種類を USER に設定すると、バッテリーのパラメーターをカスタマイズできます。DC Home アプリでパラメーターを変更できます。

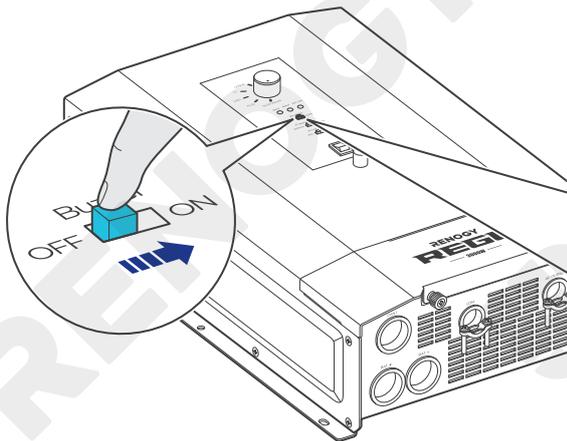


以下の表は、インバーターチャージャーに接続できるバッテリーのデフォルトおよび推奨パラメーターを示しています。パラメーターは、使用する特定のバッテリーによって異なる場合があります。特定のバッテリーのユーザーマニュアルを読むか、必要に応じてバッテリーの製造元に問い合わせてください。

バッテリータイプ パラメーター	SLD/AGM	GEL	FLOODED	LI (LFP)	USER (デフォルト)	USER (推奨)
過電圧遮断電圧	15.8V	15.8V	15.8V	15.8V	15.8V	9.0-16.0V
過電圧制限電圧	15.5V	15.5V	15.5V	14.8V	15.5V	9.0-16.0V
イコライゼーション電圧	-	-	14.8V	-	14.8V	9.0-15.5V
ブースト電圧	14.6V	14.2V	14.6V	14.4V	14.2V	9.0-15.5V
フロート電圧	13.8V	13.8V	13.8V	-	13.8V	9.0-15.5V
ブースト復帰電圧	13.2V	13.2V	13.2V	13.6V	13.2V	9.0-15.5V
低電圧再接続電圧	12.6V	12.6V	12.6V	12.8V	12.6V	9.0-16.0V
電圧不足警告電圧	12.0V	12.0V	12.0V	12.0V	12.0V	9.0-15.5V
低電圧遮断電圧	11.1V	11.1V	11.1V	11.5V	11.1V	9.0-15.5V
ブースト持続時間	120 min*	120 min*	120 min*	-	120 min*	10-600min
イコライゼーション期間	-	-	120 min	-	120 min	0-600min
イコライゼーション間隔	0 day**	0 day**	30 days	-	30 days	0-255days

- *SLD/AGM、GEL、FLD 電池の場合、充電電流が 30 秒間バッテリーのテール電流を下回ると、インバーターチャージャーは自動的にフロート充電に切り替わります。
- ** イコライゼーション充電は行われません。
- 灰色のパラメーターは手動で設定できません。
- バッテリー電圧が低電圧遮断値に達すると、BAT LED が黄色または赤色に点灯します。すべての負荷を外し、すぐにバッテリーを充電してください。

ブザーの有効化 / 無効化



デフォルト: OFF.

Buzzer

OFF ON

ブザーは、システムの状態に応じてさまざまなパターンでビープ音を鳴らします。

- 断続的なビープ音 (0.5 秒): 警告
- 連続的なビープ音: エラー

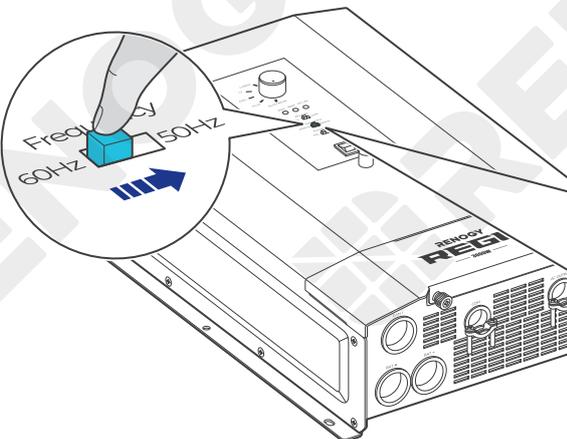
Buzzer

OFF ON

AC 出力周波数を設定する

接続する AC 負荷の周波数に合わせて、インバータチャージャーの AC 出力周波数を設定します。

*AC 出力周波数は入力電源周波数と一致している必要があります。一致しない場合はエラーが発生します。



デフォルト: 60 Hz

Frequency

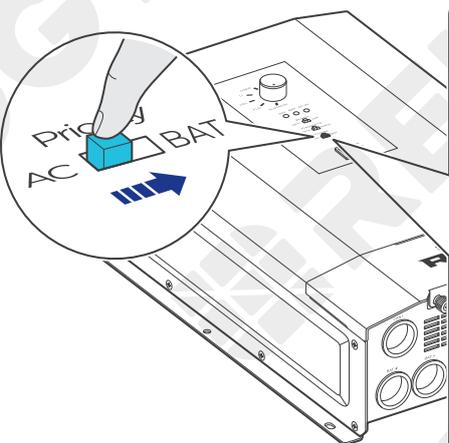
60Hz 50Hz

設定 2: 50 Hz

Frequency

60Hz 50Hz

AC 出力の優先順位を設定する



デフォルト: AC 優先モード。このモードでは、接続された負荷は最初に商用電源によって供給され、商用電源が利用できない場合にはバッテリーによって供給されます。

Priority

AC BAT

オプション 2: バッテリー優先モード。このモードでは、接続された負荷は最初にバッテリーから電力を供給されます。バッテリー電圧が低下して低電圧遮断される場合(±0.3V)、商用電源からバッテリーを充電し、接続された負荷に電力を供給します。バッテリーの充電が完了すると、負荷にはバッテリーから再び電力が供給されます。

Priority

AC BAT

バッテリーの充電が完了したかどうかを確認する方法:

- 非リチウム電池の場合: 電池の充電は、電池がフロート充電段階に 2 時間留まると完了したとみなされます。
- リチウム電池の場合: 電池のテール電流よりも小さい充電電流で定電圧充電段階に電池が 2 時間留まると、電池の充電は完了したとみなされます。

電源オフ/オン

方法 1: オン/オフ/リモート電源スイッチを使用する



OFF: インバーターチャージャーがオフになっています。

インバーターチャージャーは、バッテリーから電力を供給することなく商用電源を使用して AC 負荷または家電製品に直接電力を供給します。商用電源は接続されたバッテリーを同時に充電します。

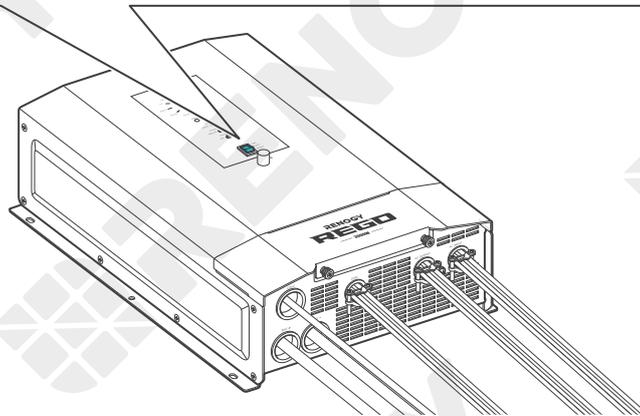


ON: インバーターチャージャーがオンになっています。

インバーターチャージャーは、AC 出力の優先順位に基づいて、バッテリーの充電または商用電源から負荷への電力の供給を優先します。このモードでは、商用電源とバッテリーが連携して、最大合計 5000W の負荷に電力を供給できます。



REM: 有線リモコンでインバーターチャージャーのオン/オフを切り替えます。



方法 2: 有線リモコンを使用する

オン/オフ/リモート電源スイッチを REM 位置に押しします。RMS-P ボタンを押して、インバーターチャージャーの電源をオンまたはオフにします。



ON

インバーターチャージャーがオフになっています。

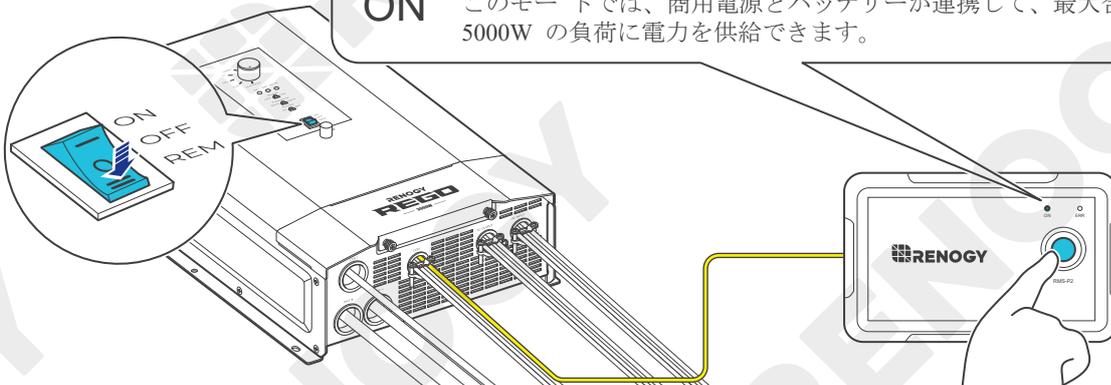
インバーターチャージャーは、バッテリーから電力を引き出すことなく、商用電力を使用して AC 負荷または家電製品に直接電力を供給します。商用電源は接続されたバッテリーを同時に充電します。



ON

インバーターチャージャーがオンになっています。

インバーターチャージャーは、AC 出力の優先順位に基づいて、バッテリーの充電または商用電源から負荷への電力の供給を優先します。このモードでは、商用電源とバッテリーが連携して、最大合計 5000W の負荷に電力を供給できます。



LED インジケータ

INV LEDインジケータ

○ オフ: インバータモードではありません。

● 点灯: 出力電圧は正常です。

- 点灯:
- インバータ過電流保護
 - インバータ出力電圧保護
 - インバータ過熱
 - 内部過熱
 - DC-DC過熱
 - DC保護
 - 変圧器過熱
 - 低温/内部温度センサー異常
 - ファン故障
 - AC電流保護

AC IN LED インジケータ

○ オフ: AC入力が見つかりません。

● 点灯: 送電網の電圧は正常です。

● 点滅: 送電網は負荷に電力を供給したり、バッテリーを充電したりしています。

- 点灯:
- AC IN L1の電圧エラー
 - AC IN L2の電圧エラー
 - 送電網電流エラー
 - 入力周波数エラー

BAT LEDインジケータ

○ オフ: バッテリーが見つかりません。

● ゆっくり点滅 (2s): バッテリーは充電中です。

● 高速点滅 (0.5s): バッテリーが放電中です。

● 点灯: バッテリー電圧不足/過電圧警告

● 点灯: バッテリー電圧不足/過電圧エラー

インバータチャージャの動作状況も有線リモコンで確認できます。

ON LEDインジケータ

○ オフ: インバータチャージャがオフになっています。

● オン: インバータチャージャがオンになっています。

ERR LEDインジケータ

○ オフ: 障害なし

● オン: システム障害

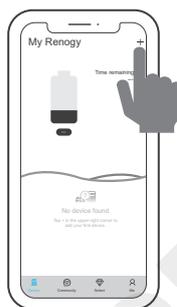
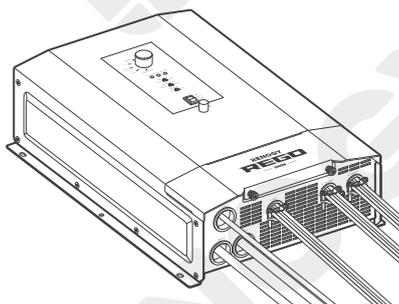


⚠️ 黄色または赤色のLEDが点灯している場合は、インバータチャージャに障害があります。トラブルシューティングの詳細については、DC Home アプリにログインしてください。

インバータチャージャを監視する

DC HOME アプリによる近距離監視

インバータチャージャを DC Home アプリとペアリングします。アプリ経由でインバータチャージャのパラメータを監視および変更できます。

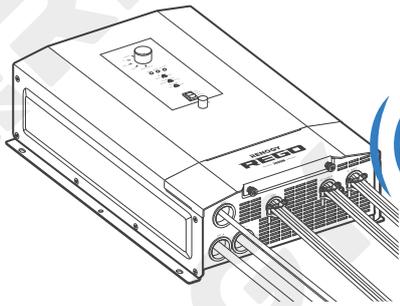


ワイヤレス長距離モニタリング

推奨コンポーネント



RENogy ONE Core エネルギーモニター



Internet

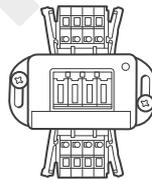


有線による長距離監視 (バックボーンネットワーク)

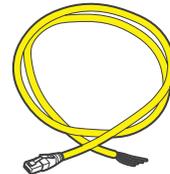
推奨コンポーネント&アクセサリ



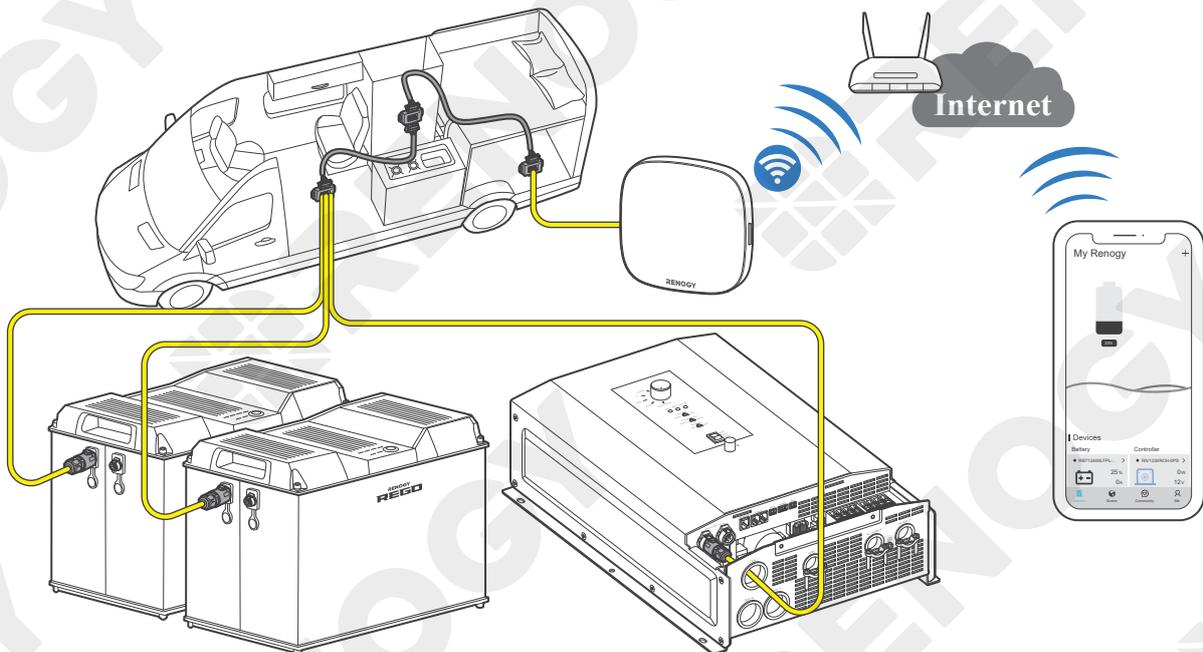
RENogy ONE Core
エネルギーモニター



共通ドロップタップ



RJ45 プラグ to ベアードロップケーブル

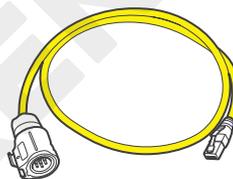


有線による長距離監視(デジーチェーンネットワーク)

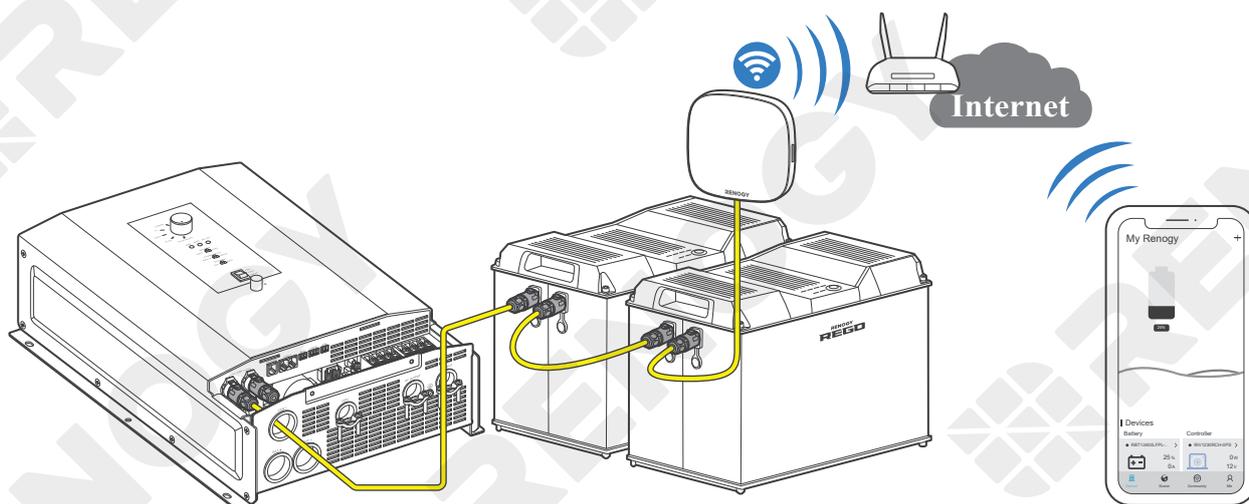
推奨コンポーネントとアクセサリ



RENOGY ONE Core エネルギーモニター



LP16 プラグ(7-Pin) to RJ45 通信アダプターケーブル



重要な安全情報

概要

- 設置および操作中は、適切な保護具を着用し、絶縁工具を使用してください。インバーターチャージャーの上またはその周囲で作業するときは、宝石やその他の金属物を身に着けないでください。
- インバーターチャージャーはお子様の手の届かないところに保管してください。
- インバーターチャージャーは家庭ゴミとして廃棄しないでください。地域の規制を遵守し、必要に応じてリサイクルしてください。
- 火災の場合は FM-200 または CO₂ 消火器で消火してください。
- インバーターチャージャーがボートに不適切に取り付けられた場合、ボートの部品が損傷する可能性があります。
- インバーターチャージャーは資格のある電気技師に依頼してください。
- インバーターチャージャーを可燃性または強力な化学物質や蒸気にさらさないでください。
- 冷却ファンが詰まっていないことを確認するために、インバーターチャージャーを定期的に掃除してください。
- ケーブルが長すぎると電圧降下が発生するため、すべてのケーブル（通信ケーブルを除く）は 10m を超えないようにすることをお勧めします。通信ケーブルは 6m 未満である必要があります。
- クイックガイドに記載されているケーブル仕様は、3% 未満の重要な電圧降下を考慮したものであり、すべての構成を考慮しているわけではありません。

インバーターチャージャーの安全性

- インバーターチャージャーには修理可能な部品はありません。開けたり、分解したり、修理したりしないでください。
- 接続する前に機器の極性を確認してください。逆極性の接触により、インバーターチャージャーおよびその他の接続されたデバイスが損傷する可能性があります、保証が無効になることがあります。
- インバーターチャージャーが建物、車両、またはアースにしっかりと接地されていることを確認してください。機器への損傷や干渉を防ぐため、インバーターチャージャーをテレビ、ラジオ、その他のオーディオ/ビジュアル電子機器などの EMI 受容体から遠ざけてください。
- インバーターチャージャーは動作時に発熱します。火傷を防ぐため、インバーターチャージャーが動作しているときのみ設定パネルに触れてください。
- 損傷を避けるため、インバーターチャージャーを他の AC 入力電源と並列接続しないでください。

バッテリーの安全性

- 感電の危険があります。インバーターチャージャーに接続する前に、接続されているバッテリーの電源がオフになっていることを確認してください。
- バッテリーに損傷がある場合は使用しないでください。
- バッテリーが損傷している場合は、露出した電解液や粉末に触れないでください。
- 爆発の危険があります！密閉された筐体にインバーターチャージャーを設置しないでください。インバーターチャージャーを密閉された場所に設置しないでください。
- インバーターチャージャーを取り付ける前に、すべてのグループが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 電圧降下を避けるために、インバーターチャージャーはできるだけバッテリーに近づけてください。
- ユーザーマニュアルに従って、バッテリー電圧が通常の範囲 (9V ~ 15.8V) 内にあることを確認してください。バッテリー電圧が 9V より低い場合、インバーターチャージャーはバッテリーを検出できません。バッテリー電圧が 15.8V より高い場合、インバーターチャージャーが損傷します

Renogy Support

本クイックガイドに記載されている誤りや欠落については、次の連絡先までお問い合わせください。

 | <https://jp.renogy.com/contact-us/>

日本以外のテクニカルサポートは、下記の現地サイトをご覧ください。

US |  | www.renogy.com

China |  | www.renogy.cn

Australia |  | au.renogy.com

Canada |  | ca.renogy.com

South Korea |  | kr.renogy.com

Germany |  | de.renogy.com

United Kingdom |  | uk.renogy.com

Other Europe |  | eu.renogy.com

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- (1) Reorient or relocate the receiving antenna.
- (2) Increase the separation between the equipment and receiver.
- (3) Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- (4) Consult the dealer or an experienced radio / TV technician for help.

FCC Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20 cm between the radiator & your body.



Renogy Empowered

Renogyは、DIYに適した再生可能エネルギーソリューションの教育・普及を通じて、世界中の人々に力を与えることを目指しています。

私たちは、持続可能な生活とエネルギーの自立のための原動力となることを目標としています。

目標の実現に向けた取り組みとして、当社の様々なソーラーシステム製品を使用すると、グリッド電力の必要性を減らし、二酸化炭素排出量を最小限に抑えることができます。



Renogyでサステナブルな暮らし

ご存じでしょうか？月に1KWの太陽光発電システムを導入すると...



石炭を燃やす量を約77kg削減できます。



大気中に放出されるCO₂を約136kg削減できます。



消費される水の量が約4770節約できます。



Renogy Power PLUS

Renogy Power Plusでは、今後のソーラーエネルギーの革新的な技術を常に把握、ソーラーエネルギーの旅の経験の共有、Renogy Power Plusコミュニティで世界を変えようとしている同じ志を持つ人々と繋がるすることができます。



@Renogy Solar



@renogyofficial



@Renogy

Renogy は、このクイックガイドの内容を予告なしに変更する権利を留保します。

